

HOSEI Global challengers Camp 2026

～グローバルを問い直す5日間～

実施レポート

これからの時代を生きる中高生39人が、全国から集まり、自分の将来や社会との関わりについて深く考える5日間となりました。2026年度のテーマは「**グローバルを問い直す～全国の仲間と共にみつける将来の自分～**」でした。

グローバルスタンダード、グローバル教育など様々な場所で「グローバル」という言葉が使われていますが、果たして「グローバル」の意味を正しい文脈で理解できているでしょうか？
今回のCampは「グローバル」の持つ意味を改めて問い直すと共に、現在と将来の社会情勢を考えた上で、自分自身が考える「グローバル」な在り方とそれを実現するための方法を考える5日間となりました。

グローバル社会で活躍する国際機関職員や世界で活躍するグローバルチャレンジャーなどロールモデルたちの講演や法政大学の教員からの講義を通じて、「グローバル」について様々な角度から学びを深めました。また、参加者同士のディスカッションや英語でのプレゼンテーションを通じて、グローバル人材に必要なスキルを実践的に学びました。
プログラム中は法政大学の学生がメンターとして参加者たちをサポートし、5日間大学生の先輩と共に大学で過ごすことで、参加者たちが自身の将来や進路を真剣に考えるきっかけを提供することができました。

1. 実施概要
2. スケジュール
3. フォトギャラリー
4. アンケート・参加者・奨学生の声
5. 学生メンターの声と参加者からのアンケート
6. 動画等

概 要



1，期間

2026年８月20日～24日

2，開催場所

法政大学市ヶ谷キャンパス

3，参加人数

39名

※参加費

宿泊参加：12万円

通学参加：8万円

※奨学生：13名

(首都圏外の枠8名含む)

4，事前選考

有り(エッセイ及び面接)

5，応募地域・国

北海道、茨城県、栃木県、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県、新潟県、富山県、静岡県、愛知県、京都府、大阪府、沖縄県、中華人民共和国、アメリカ合衆国

6，参加学校

北海道登別明日中等教育学校、新潟県立新発田高等学校、富山県立高岡高等学校、星の杜中学・高等学校、常総学院高等学校、西武学園文理高等学校、千葉敬愛高校、市川学園市川高等学校、和洋国府台女子高校、城北高校、帝京高校、東京学芸大学附属国際中等教育学校、淑徳巣鴨中学高等学校、駒込高等学校、安田学園高校、大妻中野中学・高等学校、私立富士見丘中学高等学校、山脇学園中学・高等学校、かえつ有明高等学校、多摩大学目黒高等学校、八雲学園高等学校、成城学園高等学校、法政大学高等学校、法政大学第二高等学校、法政大学国際高等学校、横浜創英高等学校、神奈川県立平塚中等教育学校、静岡県立静岡城北高等学校、横須賀高等学校、立命館宇治高等学校、追手門学院高等学校

7，プログラム内容

今回のプレゼンテーションテーマは「グローバルを問い直す」 でした。5日間のプログラムでは、法政大学総長のDiana Khorの基調講演より始まり、世界7か国で教育に携わる若者達、国際機関やグローカルの視点で活躍するGlobal Challenger達から、それぞれ視点での「グローバル」について学びました。その上で、グローバルな社会で活躍する人材を育成するためには、どんな育成プログラムが必要かをグループに分かれて立案をしました。最後は、多国籍の審査員に加え100名を超える聴衆の前で、英語でプレゼンテーションを行いました。プレゼンテーションに取り組む過程で、英語での発表スキルを専門の講師から学びました。

また、5日間の中で、大学生メンターや様々な分野に取り組む法大生の話を聞いたり、キャンパスツアーなどに参加することで、自身の大学生活へのエンゲージメントも高まりました。

スケジュール

Day.1

- ✓ **オリエンテーション**
- ✓ **キーノートセッション「グローバルスタンダードを問い直す」**
  Diana KHOR　法政大学総長　グローバル教養学部教授
- ✓ **メンターセッション①**
- ✓ **プロジェクトの進め方　ウェルカムパーティー**

- ✓ **チームビルディング**　湯浅陸氏　Nike Official Trainer
- ✓ **特別講演①**
  根本かおる氏　国連広報センター
  上田みさき氏　社会政策コンサルタント(元Unicef職員)
- ✓ **Challengers Talk**　市川太一氏 World Road CEO ×　世界7か国のDreamers
- ✓ **キャンパスツアー**
- ✓ **パースペクティブディスカッション①　「わたしのグローバルとの付き合い方」**
  澤田修司氏　株式会社シェンゲン　代表取締役
  横山哲也氏　横山興行株式会社　取締役　商品企画部長
  佐藤大地氏　株式会社アミューズ　瀬戸内プロジェクト部長・現地統括
- ✓ **グループワーク**

- ✓ **グループワーク**
- ✓ **メンターセッション②～多様な法大生を知って、将来をイメージしよう～**
- ✓ **Presentation Skills in English**
  Mark Birtles 法政大学グローバル教養学部 専任講師
- ✓ **グループワーク**

Day. 4

- ✓ **グループワーク**

Day.5

- ✓ **Final Presentation**
  審査員：Diana KHOR 法政大学総長　グローバル教養学部教授
  福岡賢昌　法政大学グローバル教養学部　学部長　教授
  Marwa Elgezery 氏　Head of Sakura International School Elementary School
- ✓ **Closing Party**

HOSEI Univ.

Photo Gallery



























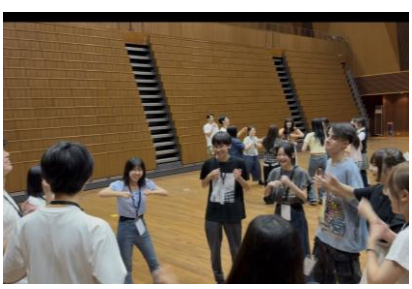







HOSEI Univ.

参加者の声

キャンプ全体の満足度は？

94.4%が「とても満足・満足」と回答

HGCCのあらゆるプログラムを通して、グローバルについての解像度が高まったと共に、グループワークを通して、人間としても成長できたと思うから。大きな学びのあるキャンプだったから。

普段考えられない問題を、普段関わっている人々とは違うメンバー、違う立場で思考できる経験はなかなかないし、非常に刺激的だった。仲間と協力して1つのものを作り上げるという実感を、人生で最も感じた5日間だったから。

初めてあった仲間と濃い５日間を過ごすことができました。英語の不安がたくさんありましたがメンバーやメンターさんに支えられ無事終えることができました。ここまでみんなで真剣に取り組み、3位という結果を残せたことはとても嬉しかったし貴重な経験でした。同じ興味を持った人と過ごして自分もたくさん大変な思いをしたからこそ次に生かしていきたいです。

五日間本当にありがとうございました！！本当にいいメンターさん、運営の方々ばかりでとても楽しかったです！自分は今まで恥ずかしさや自信がなかったこともありチャレンジできなかったことが多々あったけれど今回のこの大人数の前で発表する経験、様々な方による講義を活かして色々なことにチャレンジしたいと思います。来年も絶対に参加します！！

外国語での授業や話を聞くことや、グローバル、自分たちの将来について深く考えること、幅広い経験や価値観を持つ人々との交流や協力など今までになかった体験、経験をすることができ、とても充実した5日間を過ごすことができた。とても楽しかったです

今回学んだことを今後どう活かしていきたいですか？

これからも様々な価値観を持った人と関わる機会があると思うので、このキャンプの世界のロールモデルと繋がるのセッションで学んだ、まずは話を聞いてみるということを実践してもっと広い視野を手に入れたいです。

興味関心を持つためには、自分のいつもいる環境ではない、別の人々の集まる環境に身を置くことが大切なため、まずは大学や、会社、団体の行うようなイベントに積極的に参加して、様々なコミュニティに身を置いて興味関心について深めてみたい。特に今回知ることができた、全国高校生未来会議に参加してみたい。英語の学習において、相手の意見を取り入れたり自分の意見を発信するツールとして使うことを頭に入れて、文章を作って話たりすることに力を入れたい。

自分のなりたい将来像とグローバルという意味です。自分の個性を大事にしつつ、グローバルをつないで社会貢献できたらいいなと思います。

いろんな人々と関わることの大切さや、他人からの学びを享受する大切さ、それから自分の成長につなげることを意識したい

自分の将来に向けてさらにモチベーションを上げることができたため、現実化できる用に努力したいと思います。





参加者の声(法政大学について)

法政大学への関心度は高まりましたか？

91.7%が「とても高まった・高まった」と回答

もともと法政大学のことを知らなかった。今回のキャンプを通じて、法政大学の設備が充実していることや、優しい先生がいることに気づけた。

正直、自分は今まで偏差値や名声としてみていたことも少なくはありませんでしたが、今回のcampで法政大学の教育精神のようなものを身近に体験し、より一層法政大学に入学したくなりました！

あまり法政だからこれというイメージは参加前にはなかった。しかし、プログラムの中にキャンパスツアーも含まれていたため、法政のここではこれができる、という具体的な特徴などを知れて、大学受験の選択肢にも入れようと思った。

参加する前から憧れの法政大学で貴重な経験ができ、素敵な学生さんを見てさらに関心が高まりました。

実際の大学の施設や、ドイツ語カフェなどといったイベント、大学生の生活などを知ることができて、面白かったから

もともと附属校に通っているため、法政大学への関心はとても高かったが、学部のことやどんな雰囲気なのかまではオープンキャンパスなどではわからない部分も多かったので、今回メンターさんと話したりいろいろなことを通してたくさん知ることができた。

グローバルという観点から法政大学のイメージに変化はありましたか？

69.4%が「とても変わった・変わった」と回答

実際の国際的な学部のかたと話せたりしたのでとてもグローバルに力を入れていると感じました。また、留学もとても多いのでそう感じました。

この話題に関して取り組むところは多いが、行動にしっかり移しているところは多くない中で、法政大学は優勝グループの意見を実際に取り入れる、生徒のプレゼン内容でどう企画の参加者に行動してもらうかを重視している点が印象に残りました。

学生にとてもフォーカスすることに尽力する大学だなととても感じた

MARCHという括りでしか法政大学を知らなかったので、どのような特色があるなどの事は全く知らなかった。

留学制度が整っているなどはもちろん、実際通っているメンターさんが世界で活躍しているということがわかったから。





奨学生の声①

学校･学年(京都府)立命館宇治高校学校　１年生

参加しようと思った理由はなんですか？

現在、グローバル教育に力をいれた高校に通学していて、かつ、大学でもグローバリズムや国際理解について学びたいと考えている身として、HGCCに参加し、グローバルについて考える機会を持つことは、大きな意味があると考えたから。また、各地から集まる同世代の参加者たちとディスカッションの機会を持てることも魅力的だと感じたから。
五日間のキャンプを通して、講演者や他の参加者から刺激を受け、グローバルについて考えを深めるとともに、聞く力、考える力など、人間として成長することが出来るのではないかと思い、応募した

参加を通して得たものありますか？

まず一つ目に、自分の価値観が広がりました。例えば雑談をしているときに、オーストラリアに留学した話や、イギリスに旅行に行った話、アメリカやネパールに住んでいたころの話など、私の周りの人にはないような経験をしている人たちがたくさんいて、いろいろなお話を聞きました。電車は乗り換えるのが当たり前で、通学に一時間はざらにあるということも聞いてびっくりしました。
　また、考え続ける力も手に入りました。私たちの班は、ずっとブレインストーミングを行っていて考えるのが嫌になるほど意見を出していました。でも、時々出てくるびびっとする意見に気づかされ、新しい方向に考えが進んでいくのがすごく楽しく、考え続けるための忍耐力が手に入ったと思います。

この経験を今後どう活かしていきたいです？

キャンプを通して得た一番大きなものは、やはり、グローバルについての新たな考え方だった。HGCC参加前は、グローバリズムにはメリットとデメリットの両方があり、必ずしも良いものではない。という考えを持っていたが、元Unicef勤務の方の話を聞いて、グローバルというのは、個人の利益云々の話ではなく、地球全体として一丸となって国際問題に取り組んでいくことで、異文化理解や、異文化適応は一丸となるためのプロセスに過ぎないのだと考えを改めた。他にも、グループワークを通して、班をまとめる難しさや責任の大きさ、協力することの楽しさを経験した。

奨学金は参加をどのように後押ししましたか？

まずは学校のグローバル学習に活かしていきたいと思う。これからもグローバリズムについて考える機会は多くあるので、そのたびに、HGCCを通して考えたことや、聞いた話を活かして、多面的に考えることが出来ると思う。
また、キャンプを通して得た、他の参加者やメンター、運営の方々との繋がりは今後の人生で大きな助けになると思う。







奨学生の声②

学校･学年(神奈川県)横浜創英高等学校２年生

参加しようと思った理由はなんですか？

サマーキャンプには英語力の向上を目的としたものが多い中、「グローバルを見つめ直す」というテーマに強く惹かれたからです。また、これまでボランティアや委員会活動を通して多くの人と関わってきましたが、同世代で、異なる学校に通い、グローバルな課題に関心を持つ人と交流する機会は多くありませんでした。そのため海外にルーツを持つ人や、意欲的に活動する同世代の仲間と出会い、新しい視点や価値観に触れたいと思い、参加を決めました。

参加を通して得たものありますか？

自分の軸を大切にしながら、興味を持ったことにはまず挑戦してみる姿勢を身につけました。また、言葉一つ一つの意味を考え、どの英単語を使うのかなど、根拠をもとに自分なりの定義を考えることの大切さも学びました。さらに、集団の中で自分の意見を伝える大切さを実感しました。以前は否定されることを恐れ、発言に自信を持てないこともありましたが、今回は意識して自分の考えを伝えました。仲間が私の意見を認め、取り入れてくれた経験から、互いの考えを共有し、一緒に考えることで、より良いものを生み出せることを学びました。

この経験を今後どう活かしていきたいです？

今回の経験を生かし、これからも年齢や学校、考え方の異なるさまざまな人と積極的に交流していきたいです。人と関わる中で、自分とは異なる価値観や考え方に触れ、自分自身の考えをさらに深めていきたいと思います。また、周囲の意見に流されるのではなく、自分は何を大切にしたいのかを見つめ直し、自分なりの軸を持って行動できる人になりたいです。自分自身を知るためにも、多くの人と関わり、互いに刺激を受けながら成長していきたいです。

奨学金は参加をどのように後押ししましたか？

これまでにも参加してみたいサマーキャンプや活動はありましたが、参加費が高いものも多く、興味があってもなかなか一歩を踏み出せずにいました。今回、奨学金によって参加費の負担がなくなったことで、費用を理由に諦めることなく、新しいことに挑戦することができました。経済的なハードルが下がったことで、以前から興味を持っていた「グローバルを見つめ直す」という学びの場に参加でき、普段は出会うことのできない同世代の仲間と交流するという貴重な経験にもつながりました。







奨学生の声③

学校・学年(東京都)大妻中野中学校・高等学校　中学3年

参加しようと思った理由はなんですか？

当キャンプのテーマである「グローバルを問い直す」に関して、今、ブームでもある「グローバル」の定義を再度する機会だと思いました。

キャンプの前には、私自身は「グローバル」を文化や宗教を体験し、理解することだと考えを持っていました。私の定義とは違う定義を考え、違う視点を持ったグループの中の人と話し、新たな視点を得たいという考えや、その他に、他校の人とも関わることができる期間だと感じ、参加することにしました。

そして、夏休みの中であるため、宿題のような勉強ばかりをするのではなく、他校の人と話し、楽しみたかったからです。

参加を通して得たものありますか？

このキャンプを通して、主に2つのことを得ることができました。最初に、「グローバル」の定義に関する様々な視点。グローバルを単に世界に関することではなく、その言葉自体をどのように定義することができるかを知ることが出来ました。

そして、２つ目は、英語のプレゼンテーションの仕方についてです。このサマーキャンプを通して、スライドを見やすくする方法、そして、どのように発表すれば分かりやすく、人々に注目されるようにできるかを学びました。

このように、当キャンプでは新しい視点をたくさん得るというディスカッションを通してのことと、講義を通して分かった英語の発表方法を学ぶ、得ることが出来ました。

この経験を今後どう活かしていきたいです？

今回のサマーキャンプで得た経験を今後、主に2つの方法で生かしていきたいと思います。

まず、「グローバル」という単語は今後もよく出てくるため、その時に、一つの狭い理解ではなく、自分のグループの出した解答やほかのグループが最終発表で出していた解答を通し、「グローバル」に関する様々な意味を知ることができました。これによって、作文を書くとき、学んだ意味を使用して活かそうと思います。

そして、英語のプレゼンテーション講義で学んだコツや大事なポイントを今後の授業でのプレゼンテーションや、特に、英語での発表に活かしたいと思います。

奨学金は参加をどのように後押ししましたか？

今回のキャンプの奨学金の書類選考や面談が主に私の参加を後押ししたと思います。

書類選考において、英語で作文を書くことになっていたため、作文を「Globalについて」書くことによって、作文を久しぶりに書き、今後のコンテストのための練習ともなりました。

面談では、参加動機や自分自身について聞かれ、その準備として今後の書類選考やコンテストに使用できる自己紹介、自分の強みとかについて改めて知るきっかけとなりました。そして、面談の練習としてキャンプの運営の人と事前に話し、キャンプが楽しみになり、後押ししたと思います。





参加者からメンターへの評価

参加者の100%がメンターのサポートについて「とてもよい・よい」と回答

グループに寄り添ってくれて、いろんなアドバイスをいただきました。特にお互い緊張する初対面のときに明るく話しかけてくれたので、打ち解けることができました。ありがとうございました。

自分から質問をすることもありましたが、メンターさんから聞いてくれることが多くとても助かりました！アドバイスも的確で客観的な意見として参考になるものばかりで立ち止まった時にとても助けになりました！

チームでの意見交流や考えることを大切にした上で、何が足りないか、どのように道筋を立てて考えるべきかを教えてくれたり、行き詰まった時にアドバイスをくれたりしてとても助けになった。

私たちのメンターさんがじゅりあちゃんだったからこのように頑張れたと思えるくらいたくさんサポートしてもらいました。悩みをたくさん聞いてもらい、英語の難しさを感じたからこそこれからの英語を頑張るモチベーションに繋がりました。

意見を出し合った時、改善できるようなところがあってもまずはいい所を肯定し、やる気を引き出し続けてくれたし、的確なアドバイス、考える糧を何度も撒いてくれた。あまりにも助かりすぎた。

とても親身になってサポートしてくださり、本当に嬉しかったし、安心しました。他のグループのメンターさんも相談にのってくださり、とても参考になりました。メンター同士の雰囲気もあたたかく気軽に相談できる雰囲気でした。












